

平成29年度 かつらぎ町行財政対策協議会 評価対象事業

●平成28年度決算主要施策

事業番号	事業名	評価日程(予定)	担当課
1	【地】観光交流促進事業（記念事業実施）	第1回（7月3日）	生涯学習課
2	【地】観光交流促進事業（ポスター・パンフレット作成）	第1回（7月3日）	産業観光課
3	【地】フルーツ王国イノベーション推進事業	第1回（7月3日）	産業観光課
4	動脈硬化検査事業	第2回（7月下旬）	やすらぎ対策課
5	キッズイングリッシュ推進事業	第2回（7月下旬）	教育総務課
6	子どもの居場所づくり事業	第2回（7月下旬）	青少年センター
7	【地】かつらぎ100選ブランディング推進事業	第2回（7月下旬）	企画公室
8	土砂災害ハザードマップ作成事業	第3回（8月下旬）	建設課
9	合併処理浄化槽設置補助事業	第3回（8月下旬）	生活環境課
10	備蓄食糧購入事業	第3回（8月下旬）	総務課

【地】… 「地方創生加速化交付金事業」地方版総合戦略の策定と、これに関する優良施策の実施を支援することを目的とした国が交付金を交付する事業

事業番号	事業名	町自主事業
1	観光交流促進事業(記念事業実施)	本年度決算 2,468,027円
(款) 7. 商工費	(項) 2. 観光事業振興費	前年度決算
	(目) 4. 観光交流促進事業費	(増減) 2,468,027円
生涯学習課 指導係		決算書
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第4節 歴史・文化の継承と創造	第1 歴史・文化の継承と創造

内容	<p>世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の関連文化財である高野参詣道三谷坂について、平成28年7月における同世界遺産への追加登録を目標としています。</p> <p>追加登録を記念し、当町における対象文化財である「高野参詣道三谷坂」におけるウォーキングイベント及びマップ作成を行います。</p> <p>[事業期間] 平成28年度</p>	
目的	<p>記念事業を行うことで、世界遺産に対する正しい理解を広げるとともに、かつらぎ町を全国及び全世界に向けてPRし、文化財保護法の目的達成・教育行政の推進・郷土愛の深化・町の知名度アップを図ります。</p>	
実績	活動	<p>追加登録直前に、既登録の町石道と追加登録予定の高野参詣道三谷坂を和歌山県世界遺産マスターの解説付きで実際に歩く『町石道・三谷坂ウォーク』と、各資産や関連文化財について学ぶシンポジウム『祈りと共生の世界遺産』を開催した。</p>
	成果	<p>町内外の参加者に、和歌山県世界遺産マスターの解説付きで現地を歩くことで、世界遺産を体感していただきました。また、シンポジウムにより、世界遺産についての学習をより深めることが出来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催数: 1回 ・マップ作成数 : 14, 000部
課題	<p>文化財を次世代に伝えていくため、「ふるさと学習」の拡大が課題となります。</p>	

経費	ウォーキングイベント委託料	1,400,000円
	世界遺産シンポジウム要約筆記派遣委託料	30,288円
	世界遺産シンポジウム「祈りと共生の世界遺産」記念講演講師派遣手数料	500,000円
	郵送料	38,512円
	チラシ・ポスター印刷費	132,504円
	食糧費	6,750円
	消耗品費	20,885円
	手話通訳謝礼	30,000円
	パネリスト等謝金	105,000円
	パネリスト旅費	4,088円
	世界遺産高野地域協議会負担金(同会の追加登録記念事業の為)	200,000円
(計)	2,468,027円	
財源	地方創生加速化交付金(国補助、10/10)	2,468,027円

関連成果指標	指標名	単位	26年度【実績】	27年度【実績】	28年度（目標）	28年度【実績】
	ウォーキングイベント実施回数	回			2	1
	シンポジウム実施回数	回			1	1
	文化講座実施回数	回			1	1

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	世界遺産に対する正しい理解を広げる事業である。
	②有効性	大いにある	和歌山県世界遺産マスターの解説付きで現地を歩くことで、世界遺産を体感することができた。また、シンポジウムにより、世界遺産についての学習をより深めることが出来た。
	③効率性	概ねある	多数の職員を動員し行った本イベントは、上記のとおり一定の効果をあげたが、職員数が減少する中で、効率の面において課題が全くないとは言えない。
今後の事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業	
2	観光交流促進事業(ポスター・パンフレット作成)	本年度決算	168,480円
(款) 7. 商工費	(項) 2. 観光事業振興費	前年度決算	
	(目) 4. 観光交流促進事業費	(増 減)	168,480円
産業観光課 観光係 / 生涯学習課 指導係		決算書	
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	
		第1 地域特性を生かした農林業の展開	

内容	世界遺産に追加登録された高野参詣道三谷坂を広くPRするために、かつらぎ町観光パンフレットへの差し込みページ及び観光ポスターを作成します。		
目的	世界遺産に追加登録された高野参詣道三谷坂を広くPRする。		
実績	活動	観光パンフレット差し込みページ: 30,000部作成 観光ポスター: 200部作成	
	成果	世界遺産高野参詣道三谷坂が掲載されたパンフレット及びポスターを、道の駅等多くの人の目に触れる場所へ配布し、配架・掲示し、PRに役立てました。	
課題	パンフレット及びポスターの配布先を開拓するとともに、かつらぎ町観光協会と連携し、ウォーキングイベント等を企画することで、高野参詣道三谷坂の周知に努める必要があります。		

経費	パンフレット及びポスター印刷費	168,480円
	(計)	168,480円
財源	地方創生加速化交付金(国補助、10/10)	168,480円

関連 成果 指標	指標名	単位	26年度 【実績】	27年度 【実績】	28年度 (目標)	28年度 【実績】
	入込客数	人	823,000	878,000	921,000	1,157,000

担当 課 自己 評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	三谷坂及び丹生酒殿神社が世界遺産に追加登録されたことを、かつらぎ町民をはじめ、まずは多くの人に知ってもらう必要がある。
	②有効性	概ねある	作成したポスター、パンフレットを活用していくことで成果が上がるので、さらに配布先の開拓に努めたい。
	③効率性	概ねある	PR媒体の一つとして活用していく。
	今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業
3	フルーツ王国イノベーション推進事業	本年度決算 15,986,054円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費	(目) 19. フルーツ王国イノベーション推進事業費	前年度決算
産業観光課 振興係	決算書	(増減) 15,986,054円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	<ul style="list-style-type: none"> ●地域産業のイノベーション推進 広域幹線道路整備による都市とのアクセス改善を契機として、交流人口の増加、農産物や加工品の販路確保・消費拡大、しごとの創出につなげていくための環境を創ります。 ●農業団地の整備 農地造成を行い、区画整備された農地として色々な栽培ができる集団化した農業団地として整備し、新規就農者や農業の担い手育成を図ります。 ●農産物加工施設の整備 消費者ニーズに合った農産物加工品を生産するための施設を整備し、民間に貸与することで農産物加工事業へ参入するハードルを下げ、6次産業化を促します。 ●未利用木材活用事業 農林業から出る間伐材などの未利用木材を、バイオマス燃料や新たな木製品の開発・販売に活用することにより、地域経済・地域活力へつながる新たな仕組みづくりを構築します。
	<p>目的</p> <p>広域幹線道路(京奈和自動車道紀北西道路、国道480号府県間トンネル)の整備を契機として、地元農産物や加工品の販路確保、消費拡大を図り、第1次産業の収入向上・安定化による農林業の魅力アップ、そして若者の就農者増加、大規模化による雇用の確保、第2次産業、第3次産業における経営安定化・業容拡大、新規参入による雇用の確保の実現を目指します。</p>
実績	<p>活動</p> <p>かつらぎ町にある資産の洗い出しを行うとともに、来町者にアンケート調査を行ったり地域住民にも意見聞くなど幅広いニーズ調査を行い、計画を作成した。</p>
	<p>成果</p> <p>かつらぎ町イノベーション推進計画を軸に農業団地・農産物加工施設・未利用木材にかかるとなるマスタープランを作成した。今後かつらぎ町の事業を展開するにあたり、その必要性、重要性を客観的に見ることができる。</p>
課題	<p>計画を軸に事業を展開するに当たり、今後の動向や、社会情勢を見ながら計画を変更する必要がある。</p>

経費	臨時雇賃金等	2,257,604円
	フルーツ王国イノベーション推進計画策定委員会委員報償費	49,400円
	フルーツ王国イノベーション推進計画策定業務委託料	7,290,000円
	農業団地整備マスタープラン策定業務委託料	2,496,528円
	農産物加工施設整備マスタープラン策定業務委託料	1,477,872円
	未利用木材活用マスタープラン策定業務委託料	2,368,656円
	その他事務費	45,994円
	(計)	15,986,054円
財源	地方創生加速化交付金(国補助、15,924,828円×10/10)	15,924,828円
	臨時職員雇用保険個人負担金(雑入)	7,855円
	一般財源	53,371円

関連 成果 指標	指標名	単位	26年度 【実績】	27年度 【実績】	28年度 (目標)	28年度 【実績】

担当課 自己 評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	概ねある	今後かつらぎ町の農業・林業・観光の中心となる事業を展開するにあたり、その必要性・重要性を客観的にみる必要がある。
	②有効性	概ねある	かつらぎ町にある資産を考え作られたこの計画により、町内にある未活用の資源を新しい観点から利用することができる。
	③効率性	概ねある	事業を行うにあたり、必要な事業費等を事前に知ることにより、計画的・効率的に事業を行うことができる。
今後の事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業
4	動脈硬化検査事業	本年度決算 16,000,000円
(款) 4. 衛生費	(項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 予防費	前年度決算 12,003,644円
やすらぎ対策課 衛生係	決算書	(増減) 3,996,356円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第1節 健康に暮らせるまちづくり	第2 病気の予防

内容	<p>心疾患や脳血管疾患のリスクを高める動脈硬化疾患及び脳血管性認知症の予知・予防のため、集団健診時に動脈硬化検査を実施します。</p> <p>[事業期間] 平成25年度 ~</p>
目的	<p>かつらぎ町の死因別死亡の中で高血圧関連の生活習慣病(脳血管疾患・心疾患・高血圧性疾患・腎疾患・糖尿病)死亡は28.7%と、4人に1人が高血圧に関連した疾患で死亡しています。国民健康保険治療者のうち60.2%が高血圧症治療を受けています。</p> <p>また、町民健康アンケート回答者のうち約28%が高血圧に発症していて、かつらぎ町では「持病」の第1位は男女とも高血圧となっています。</p> <p>さらに、介護保険における主治医意見書記載の診断名で、1位は高血圧で2位認知症、3位脳梗塞と全体の約70%は血圧管理が大きく関係した疾病が影響をしています。</p> <p>動脈硬化検査で生活習慣病の予知・予防し、重症化予防を推進することで健康増進、健康寿命の延伸を目指します。</p>
実績	<p>活動</p> <p>40歳以上75歳未満の住民を対象に、NPO法人ヘルスプロモーションセンターと契約し、紀北分院及び和医大保健看護学部と連携して動脈硬化検診を実施しました。場所:かつらぎ町保健福祉センター10日間と花園保健センター2日間</p> <p>受診者数:(H26)657人 → (H27)669人 → (H28)775人</p> <p>検診結果説明会参加者数:(H26)456人 → (H27)464人 → (H28)全体集団説明及び個別説明指導を実施花園1回・総合文化会館2回実施</p> <p>成果</p> <p>受診者は毎年増加しています。H28年度受診者のうち血圧140/90以上者を対象とし希望者114名が高血圧重症化予防に取り組みました。</p> <p>減塩食事指・運動指導を実施し、血圧下降の効果と継続がみられました。</p>
課題	<p>受診者の増加</p> <p>[数値目標]</p> <p>・受診者数:(H28)775人 → (H29)800人</p> <p>※検査項目が多く、受診に時間がかかります。</p>

経費	動脈硬化検査委託料	16,000,000円
	(計)	16,000,000円
財源	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	7,300,000円
	一般財源	8,700,000円

関連成果指標	指標名	単位	26年度 【実績】	27年度 【実績】	28年度 (目標)	28年度 【実績】
	動脈硬化検査受診者数(保健センター)	人数	657	667	700	695
	動脈硬化検査受診者数(花園地区) ※花園地区は75歳以上の後期高齢者を含む	人数	137	135	135	136

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	かつらぎ町の死因別死亡の中で高血圧関連の生活習慣病が多く、町民健康アンケートにおいても「持病」の第1位が男女ともに高血圧となっており、それをふまえて動脈硬化検査を実施することが、生活習慣病の予知・予防となり、重症化予防を推進することで健康増進、健康寿命の延伸を目指すために必要と考えられる。
	②有効性	大いにある	受診者は毎年増加しており、検診受診後のフォロー高血圧重症化予防教室での指導にも取り組み、参加者は血圧下降効果がみられています。また、自分の健康に合わせた健康づくりに取り組む町民が増加することで、疾病の重症化を予防し健康増進、健康寿命の延伸につながっている。
	③効率性	大いにある	介護保険における主治医意見書記載の診断名で、1位は高血圧で2位認知症・3位脳梗塞と全体の約70%は血圧管理が大きく関係した疾病が影響をしているなかで、動脈硬化検査を受診することにより、生活習慣病の予知・予防となり、重症化予防につながる。
	今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業	
5	キッズイングリッシュ推進事業	本年度決算	400,000円
(款) 10. 教育費	(項) 1. 教育総務費	(目) 3. 教育諸費	前年度決算 240,000円
教育委員会総務課 指導係		決算書	(増減) 160,000円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり	第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実	

内容	キッズイングリッシュ推進員が、町内こども園等を巡回し、子どもたちが歌やゲームを通して英語や外国の文化と触れあう機会を持ちます。	
	[事業期間] 平成27年度 ~	
目的	社会のグローバル化が加速的に進展する中で、英語は子どもたちが将来の可能性を大きく広げる重要なツールであるとともに、日本の国際競争力を高めていく上での重要な要素です。かつらぎ町においても、就学前のこども園において早期から英語に親しみ、言語や文化についての体験的な理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養います。	
	実績	各こども園において、合計16回(32時間)の教室を実施しました。
課題	活動	歌やゲームを中心にプログラムを構成したことから、子どもたちの英語への興味は高められ、英語に親しむと言った目的は達成されたと考えています。また、体験的な英語の取組から英語でコミュニケーションをとることに慣れる素地づくりができました。
	成果	今後、推進員やこども園との連携を深めながら継続的なプログラムの実施に取り組めます。

経費	キッズイングリッシュ推進事業委託料	400,000円
	(計)	400,000円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 200,000円)	400,000円

関連成果指標	指標名	単位	26年度【実績】	27年度【実績】	28年度（目標）	28年度【実績】
	レッスンの開催時間	時間		30	40	32

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	小学校での英語の教科化、外国語活動の学年拡張が実施される中、就学前のこども園において早期から英語に親しみ、言語や文化についての体験的な理解を深め、積極的にコミュニケーションしようとする態度を育てる必要がある。
	②有効性	概ねある	各こども園において、園児が楽しみながら活発に活動することができ、幼児期に英語に慣れ親しむという目的は達成されている。また、講師が日本人であり、日本語と英語の対比についても園児にわかりやすく説明し、対応してくれた。
	③効率性	概ねある	活動場所がこども園に集約されたため、継続的・計画的にレッスンを開くことができるようになっている。
	今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	国の制度等
6	子どもの居場所づくり事業	本年度決算 511,728円
(款) 10. 教育費	(項) 5. 社会教育費	(目) 16. 子どもの居場所づくり推進事業費
青少年センター事務局 庶務係	決算書	前年度決算 (増減) 511,728円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり	第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実

内容	<p>教員OBやボランティア等に講師を依頼し、児童館を利用して、保護者等の帰宅まで居場所のない児童に学習支援や地域住民との交流を行います。</p> <p>[事業期間] 平成28年度 ~</p>
目的	放課後の子どもの居場所づくり及び学習習慣の確立を目的とします。
実績	<p>活動 子どもの居場所事業を親しみやすく、コミュニケーションを大切にしたいという思いを込めて、「ふれあい塾」として活動を始めました。教職員OB6名が指導員となり、主に毎週水曜日14:45~16:45笠田東児童館2階図書室で行っています。今年度は5月から42回事業を行いました。参加児童は開始時は4名だったが、3名ふえて7名の児童が宿題を中心に学力支援、英会話等行っています。また、自分ではできるんだという自己肯定感を大切に事業を行っています。</p> <p>成果 参加児童は、ふれあい塾で宿題をした日の翌日は自信を持って提出しているとのこと。また、「ふれあい塾がない日はつまらない。」「ふれあい塾がある日だけは、ランドセルを玄関に準備している」と事業を楽しみにしているという声が届いています。学習面においても、「九九の段がきちんと言えなかったが、言えるようになりました。」「字が丁寧に書けるようになりました。」との声も届いています。学校の先生からも、「週に一回ではあるが、貴重な学びの場となっています。」と褒めていただいています。</p>
課題	校区外の学校の児童の参加においては、距離の問題が考えられます。今後参加児童が増えた場合、場所の確保、指導員の負担等が心配されます。

経費	講師謝金	360,000円
	消耗品費	150,000円
	傷害保険料	1,728円
	(計)	511,728円
財源	子どもの居場所づくり推進事業補助金(国補助、510,000円×1/3)	170,000円
	和歌山県子どもの居場所づくり推進事業補助金(県補助、510,000円×2/3)	340,000円
	一般財源	1,728円

関連成果指標	指標名	単位	26年度 【実績】	27年度 【実績】	28年度 (目標)	28年度 【実績】
	居場所づくり事業 参加児童数	人				7
	居場所づくり事業 参加講師数	人				6

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	学校から帰っても一人で過ごさなければならない子どもの居場所として必要である。
	②有効性	概ねある	参加している子どもの学習に対する気持ちの変化が表れている。
	③効率性	概ねある	現在、教職員OBが指導員となり毎週水曜日に当事業を行っている。指導員はこれまでの経験をいかし、子どもに寄り添って関わりあり。
	今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業
7	かつらぎ100選ブランディング推進事業	本年度決算 7,210,966円
(款) 7. 商工費 (項) 2. 観光事業振興費 (目) 3. かつらぎ100選ブランディング事業		前年度決算
企画公室まちづくり推進係		決算書 (増減) 7,210,966円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり	第3 観光・サービス業の育成

内容	<ul style="list-style-type: none"> ●かつらぎ町の人、物、歴史、産業、伝統文化等、様々なテーマで全国、あるいは世界に誇れるもの、自慢できるものなどの情報を集め、選定し、冊子としてまとめ、旅行会社やツアー会社へ提供します。 ●ホームページやWeb等で情報発信をするとともに、簡略版としてパンフレットを作成するほか、インバウンド観光に対応するため主要外国語である英語等に翻訳し、情報発信します。 ●町内の小中学校における郷土教育の資料として活用するとともに、高校生や大学生など就職を検討する時期の若者に情報提供し、地域資源や地元産業等を周知します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●町の観光資源や地域資源の再確認や掘り起しを行い、周知することで観光事業の促進、交流人口の拡大、域内消費拡大、雇用の確保につなげます。 ●外国人観光客の獲得や広域的周遊による長期滞在につなげます。 ●町内の小中学校における郷土教育の資料として活用します
実績	<p>活動</p> <p>一般の方から応募いただいた本町の観光資源・地域資源等について、選定し、交流人口の増加を目的としてホームページや冊子等の媒体を活用して情報発信を行いました。また、子どもたちにもかつらぎ町の地域資源や地元産業等を知ってもらうことを目的に町内の小中学校等にも冊子を配布しました。</p> <p>冊子 5,000部、簡略版 10,000部</p>
	<p>成果</p> <p>地域経済・地域活力につながる交流人口の増加を図ります。</p> <p>[数値実績] ・観光入込客数 : (H26) 823千人 → (H28) 1,157千人</p>
課題	幹線道路の整備に伴い、交流人口の増加が見込まれていることから、かつらぎ町の地域資源等について情報発信を行い、かつらぎ町を中心とした周遊による滞在時間の延伸を図っていくことが必要です。

経費	報償費	30,400円
	需用費	1,013,729円
	役務費	10,837円
	委託料	6,156,000円
	(計)	7,210,966円
財源	地方創生加速化交付金(国補助、10/10)	6,434,000円
	一般財源	776,966円

関連 成果 指標	指標名	単位	26年度 【実績】	27年度 【実績】	28年度 (目標)	28年度 【実績】
	観光入込客数	人	823,180	878,633		1,157,522
	宿泊施設利用者数	人	35,157	34,931		41,682

担当 課 自己 評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	京奈和自動車道紀北西道路や国道480号鍋谷トンネルの開通により都市部からのアクセスが向上し、交流人口の増加が見込まれており、かつらぎ町を目的とした交流人口の増加を図っていくために必要。
	②有効性	大いにある	かつらぎ町の様々なテーマについて、一般の方から応募いただいたことで、よく知られているものからあまり知られていないものまで集めることができました。そこから選定しまとめたことにより、かつらぎ町の魅力をPRするものとして有効。
	③効率性	概ねある	冊子の作成、ホームページへの掲載を行ったほか、作成した冊子については交流人口の増加を目的として旅行業協会などに配布。
今後の事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	国の制度等
8	土砂災害ハザードマップ作成事業	本年度決算 2,050,920円
(款) 8. 土木費	(項) 3. 河川費 (目) 1. 河川費	前年度決算 1,015,200円
建設課 管理係		決算書 (増減) 1,035,720円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化

内容	<p>土砂災害から人命や財産を守るため、土砂災害防止工事等ハード対策と併せて、危険性のある区域を明らかにし、その中で警戒避難体制の整備や危険箇所への新規住宅等の立地抑制等のソフト対策を充実させることを目的として、平成13年4月に土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律が施行されました。</p> <p>近年、長雨や集中豪雨等による土砂災害が全国各地で発生しており、洪水・土砂災害に対する避難情報などが重要視されていることから、洪水や土砂災害に関する情報を住民に分かりやすく提供するために土砂災害ハザードマップを作成します。</p> <p>[ハザードマップ作成地区] (H28) 星川・星山・天野・志賀</p> <p>[事業期間] 平成25年度 ~</p>	
目的	土砂災害警戒区域における住民への啓発と円滑な警戒避難を図り、土砂災害から住民の生命を守ります。	
実績	活動	土砂災害の恐れのある区域・避難場所・土砂災害に関する情報の伝達方法等記載したハザードマップを作成し、関係住民の方々に配布します。
	成果	関係者が日頃から災害発生に関する情報を共有し、災害発生時には迅速かつ的確な避難を行うことが可能となります。
課題	今後は、ハザードマップを活用し、地元地域で自主的な防災活動の推進が必要です。	

経費	土砂災害ハザードマップ作成業務委託料	2,050,920円
	(計)	2,050,920円
財源	社会資本整備総合交付金(国補助、2,000,000円×1/2)	1,000,000円
	一般財源	1,050,920円

関連 成果 指標	指標名	単位	26年度 【実績】	27年度 【実績】	28年度 (目標)	28年度 【実績】
	土砂災害ハザードマップ	地区		2	4	7

担当 課 自己 評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	土砂災害の危険性のある区域を明らかにすることにより、日頃からの災害に対する意識の向上が必要と考えられます。
	②有効性	概ねある	土砂災害に関する情報を共有することにより、事前の避難や災害発生時に迅速かつ的確な行動が可能となります。
	③効率性	概ねある	地域での自主的な防災活動等への活用
	今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業
9	合併処理浄化槽設置補助事業	本年度決算 29,309,000円
(款) 4. 衛生費	(項) 2. 清掃費	(目) 3. し尿処理費
生活環境課 生活環境係		前年度決算 23,864,000円
決算書		(増減) 5,445,000円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり	第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内容	<p>公共下水道認可区域(整備済を除く)及び認可区域以外に合併処理浄化槽を設置する者について、下記の補助金を交付します。 なお、設置場所が都市計画区域内に限り、上乘せ補助があります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(通常の補助金額)</th> <th></th> <th>(上乘せ補助金額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人槽</td> <td>332,000円</td> <td>+</td> <td>166,000円</td> </tr> <tr> <td>7人槽</td> <td>414,000円</td> <td>+</td> <td>207,000円</td> </tr> <tr> <td>10人槽</td> <td>548,000円</td> <td>+</td> <td>274,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>[事業期間] 平成8年度 ~</p>		(通常の補助金額)		(上乘せ補助金額)	5人槽	332,000円	+	166,000円	7人槽	414,000円	+	207,000円	10人槽	548,000円	+	274,000円
	(通常の補助金額)		(上乘せ補助金額)														
5人槽	332,000円	+	166,000円														
7人槽	414,000円	+	207,000円														
10人槽	548,000円	+	274,000円														
目的	<p>住民の健康で快適な生活環境の確保を目的として、生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽設置費用の一部を補助します。</p>																
実績	<p>補助金による個人負担の軽減と、家庭排水改善による周辺水域の水質汚濁防止に貢献できることを広報等により周知しました。</p> <p>活動 補助件数 合併処理浄化槽設置補助金 41件 公共下水道認可区域内合併処理浄化槽設置補助金 13件 都市計画区域内合併処理浄化槽設置補助金 53件</p> <p>成果 合併処理浄化槽人口普及率:(平成27年度)19.150% → (平成28年度)20.028%</p>																
課題	<p>年度により申請件数に差があり、正確な予算把握が困難です。過去の実績や宅地開発等の情報を活用し可能な限り把握します。</p>																

経費	合併処理浄化槽設置補助金	15,088,000円
	公共下水道認可区域内合併処理浄化槽設置補助金	4,562,000円
	都市計画区域内合併処理浄化槽設置補助金	9,659,000円
	(計)	29,309,000円
財源	循環型社会形成推進交付金(国補助、15,088,000円×1/3+年度間調整額)	5,030,000円
	合併処理浄化槽設置県補助金(県補助、15,088,000円×1/3)	5,028,000円
	過疎対策事業債(借入債、返済額のうち町負担は30%)	4,500,000円
	一般財源	14,751,000円

関連成果指標	指標名	単位	26年度 【実績】	27年度 【実績】	28年度 (目標)	28年度 【実績】

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	健康で快適な生活環境の確保を図るため、費用負担の大きい浄化槽設置に対して補助金を交付することで、浄化槽普及につなげる。
	②有効性	大いにある	公共下水道が未整備の地域におけるトイレの水洗化や水質汚濁防止の手段としては、浄化槽が非常に有効な設備である。
	③効率性	概ねある	住宅の新築や改築等により浄化槽を設置する際に補助金を活用することになるが、それらは頻繁に行うことではないため、普及率は年々微増である。
	今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

事業番号	事業名	町自主事業	
10	備蓄食糧購入事業	本年度決算	584,280円
(款) 9. 消防費	(項) 1. 消防費	(目) 7. 防災費	前年度決算 584,550円
総務課 消防係		決算書	(増減) △270円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化	

内容	災害時に備え、計画的に備蓄食糧を購入します。	
	[事業期間] 平成25年度 ~	
目的	「地震災害対策のための備蓄基本方針」に基づき、発災後3日間の食糧の一部を備蓄します。 (当町必要量: 一日分=10,775食)	
	「地震災害対策のための備蓄基本指針」に基づき、発災後3日間の食料の一部(平成28年度においては2,000食)を備蓄しました。	
実績	活動	「地震災害対策のための備蓄基本指針」に基づき、発災後3日間の食料の一部(平成28年度においては2,000食)を備蓄しました。
	成果	平成25年度より事業を実施し、4年間で計8,000食の備蓄となりました。
課題	平成29年度において、備蓄用の飲料水(ペットボトル入り)の導入を予定しています。 また、賞味期限切れ(賞味期限5年)の対応については、本年度から災害時は避難所となる町内各小・中学校に配布を行い、賞味期限年度までに防災授業などの際に有効活用していただけるよう調整を進めています。	

経費	備蓄食糧費	584,280円
	(計)	584,280円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 400,000円)	584,280円

関連成果指標	指標名	単位	26年度【実績】	27年度【実績】	28年度（目標）	28年度【実績】
	備蓄食糧	食	2,000	2,000	2,000	2,000

担当課自己評価	評価項目	自己評価	評価根拠
	①必要性	大いにある	災害時に備え、計画的に備蓄食料を購入（数値目標10,000食。H28年度累計8,000食備蓄）
	②有効性	大いにある	各公民館に備蓄食糧を配置することで、より身近に町民に安心を与えられる。
	③効率性	大いにある	備蓄箇所を分散することで、災害時速やかな対応が可能となる。
	今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	

< 事業説明、質疑応答メモ >

